

# 木曾観光の 南の入口として

2006年  
移住

高橋 俊吾さん  
(南木曾町田立出身)

奥様  
育子さん(愛知県出身)

お子さん  
鼓陽ちゃん 想乃奏ちゃん

お仕事  
2人とも 高橋溪流 自営



帰郷して気づいたことはありましたか？

**俊吾さん** 久しぶりに地域の祭り(田立花馬祭り)に行ったら「あれ？こんなに若い人少なかったっけ」と驚きました。ずっと暮らしていれば緩やかな変化で気づかなかったかもしれないですが、徐々に見た祭りは「小さくなった」イメージ。消防や商工会でしばらく離れていた人たちと再び繋がっていく中で、地域の課題も見えてくるようになりました。

その課題にどのように向き合ってきましたか？

**俊吾さん** 町を盛り上げることが自分の商売を盛り上げるのだし、町を盛り上げるためには木曾地域全体が盛り上がっていかなくてはならないと気づき、様々な活動に参加してきました。

コロナ禍の地域を応援するイベントを企画したそうですね？

**俊吾さん** 商工会青年部の仲間と、「ヤムヤムキアラバン(美味しい商隊)」という木曾郡内のテイクアウトメニューが一堂に会するイベントを運営しました。美味しい料理を準備してくだ

さった店の方と、来場してくれた皆さんの想いを繋ぐことができたのが嬉しかったです。今後も人と人の想いを繋ぐきっかけ作りをしたいと思っています。

あなたの「元気」の素は何ですか？

**俊吾さん** 昔からじっとしてられない性質で(笑)人が愉しんでくれる事を探すのがモチベーションでしたから、元気でいられる素は、もちろん家族も含めて「誰かの笑顔」です。

これから移住する人へ、メッセージ(アドバイス等)はありますか？

**俊吾さん** うちの奥さんは愛知県の出身で、移住してきた当初はポツンと一人みたいな感じだったんですが、今は、町の奥さん達のネットワークに参加して、時々皆で会食などをしたりして愉しそうちにやっています。土地の人との交流を積極的にしていくことが大切ですね。まずは住み始めた地区から始めて、交流の輪を徐々に広げていけばいいと思います。

